

堆肥の窒素の効き方が簡易に把握できます

家畜ふん堆肥には窒素、リン酸、加里をはじめとした肥料成分が多量に含まれています。特に窒素は農作物の生育を大きく左右しますが、含まれている全てが効かないので、どれだけ効くのかを把握する方法が望まれていました。

今回、牛ふん堆肥と豚ふん堆肥について、窒素の効き方を評価する方法を開発し、また、評価のための簡易な分析方法を開発しました。

(平成18～20年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業)

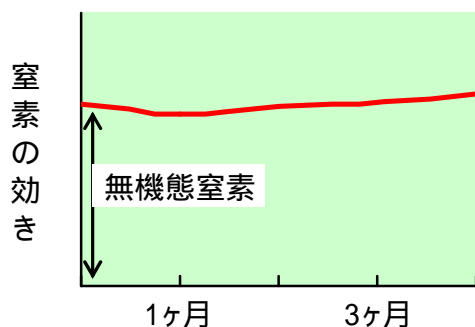
窒素肥効評価法

今まで分からなかった窒素の効き方を知ることができます

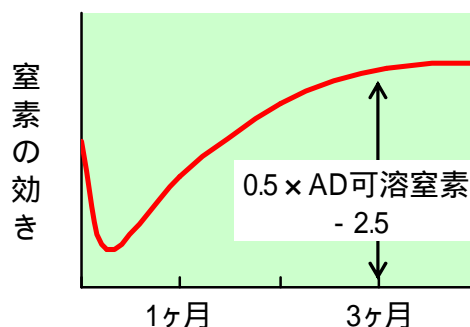
酸性デタージェント可溶有機物による仕分け

250mg/g未満

250mg/g以上



施用後無機態窒素から増減がほとんど無い
無機態窒素により窒素肥効が評価できる



施用後無機態窒素がいったん取り込まれてから放出される
施用後3ヶ月(夏期)の肥効は
0.5 x AD可溶窒素 - 2.5 により評価できる

簡易測定法

手間のかかるAD可溶有機物などの分析が簡易にできる方法を開発しました



[圧力鍋でAD抽出]



[水質の簡易分析キットで分析]

(研究成果)

- 酸性デタージェント可溶有機物により家畜ふん堆肥の窒素の効き方がわかります。
- 特定の窒素成分(無機態窒素やAD可溶窒素)を測ることで、窒素の効く量を正確に知ることができます。
- 高価な分析機器を使わずに誰にでもできる簡易な測定法を開発しました。
- 「ぎふクリーン農業」などでの窒素代替としての活用がしやすくなります。